

市原看護専門学校 看護学科 29回生 (第1学年)

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ (血液・造血器)		
時期	令和5年 10月 6日～10月13日	時間数・単位数	6時間(3コマ)
講師名	!		
テキスト	『解剖生理学(人体の構造と機能)』 『成人看護学[4]血液・造血器』 医学書院		
参考書	特になし		
授業概要	<p>Power Point を使って行います。</p> <p>過去問を中心として内容を振り返ります。</p>		
授業計画	<p>国試過去問と解説ながら、臨床的な部分もあわせて</p> <p>講義を行います。</p>		
評価方法	<p>選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。</p> <p>テスト：国試と同様に 設定式となります。</p>		
受講生への メッセージ	国試合格を目指にがんばれ！		

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ (消化器)		
時期	令和5年5月11日～7月13日	時間数・単位数	14時間(7回)
講師名	○○○		
テキスト	『解剖生理学(人体の構造と機能)』 『成人看護学(5)』 医学書院		
参考書	特に指定なし		
授業概要	<p>1. 解剖生理学は、疾病を理解する上で必須の基本的学問である。消化器は、「栄養の消化と吸収」に関わる重要な器官である。近年、消化・吸収に関して、中枢神経系とのネットワークや新たな消化管ホルモンの発見など、様々な新知見が報告されている。本講義では、消化器系を構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な消化器解剖学を十分に理解できるようにしたい。</p> <p>2. 成人看護学では、消化器系疾患の看護に係る関連事項について講義を行う。講義のテーマは、1) 消化器の構造と機能、2) 症状・兆候とその病態生理、3) 消化器系検査と治療・処置、4) 疾患の理解である。</p>		
授業計画	<p>授業は、テキストの内容順に沿って、下記の順に進める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、解剖 生理学: 人体の構造と機能「栄養の消化と吸収」 2、成人看護学: 消化器の構造と機能 3、同: 症状・兆候とその病態生理 4、同: 検査と治療・処置 5、同: 疾患の理解 <p>7回に分けて授業を行う。第1回目の講義の前に、各講義の知識確認テストをまとめて配布する。確認テストの回答は、全講義が終了後に配布する。講義内容に関する配布資料はないが、講義は教科書の順番にほとんど沿って行うので、講義のポイントを学生自身が適宜記録して貰いたい。尚、教科書は、1回目授業は解剖生理学、2回目以降は成人看護学です。</p>		
評価方法	授業の出席状況及び期末試験により評価する。		
受講生への メッセージ	<p>将来看護師として勤務する上でプラスになる内容を、可能な限り多く含めた講義にしたいと考えている。</p> <p>学生ではあるが、将来的な職業人としてのプロ意識を持って、授業に望んで貰いたい。</p> <p>単なる一方通行の講義ではなく、学生諸君と熱意ある質疑応答を交わせることを期待したい。</p>		

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進V (皮膚)		
時期	令和5年4月27日～5月25日	時間数・単位数	6時間(3回)
講師名			
テキスト	『成人看護学[12]』 皮膚 医学書院		
参考書	使用しない。		
授業概要	皮膚疾患との診療・処置を理解するため 皮膚の構造と機能を学ぶ。		
授業計画	1. 皮膚の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と診療・処置 4. 疾患の理解		
評価方法	選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。 最終日の記述式で行う試験によく準用する。		
受講生へのメッセージ	一日でも早く本能で優しく、丁寧になれるよう活動して下さい。実践で使用する知識と実戦演習のためのトレーニングを優先してお伝えします。		

市原看護専門学校 看護学科 29回生

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進V (歯)		
時期	令和5年5月25日～令和6年6月8日	時間数・単位数	6時間(3回)
講師名			
テキスト	『成人看護学[15]』 歯・口腔 医学書院		
参考書	授業時に資料を配布する		
授業概要	<p>人が生命を維持するためには、水素・酸素・炭素・窒素などの補給が必要です。その元素の取り込み口が口腔です。また顎口腔器官は呼吸や発音や社会生活にも欠かせない器官です。授業では、人にとっての口腔とは何か?を探り、口腔にある器官の性状や機能の重要性を学びます。また口腔内疾患の検査・診察・診断・治療法を踏まえたうえで顎口腔領域の看護の役割を理解し、口腔ケアの重要性及び、実践を通じて患者さんの健康・管理へ取り組んで頂けるように、基礎から実践までを講義していきます。</p>		
授業計画	<p>第一回(5月25日(木)) 遠藤 情 教科書 P2～P44 看護を学ぶにあたって 歯・口腔の構造と機能 症状とその病態生理</p> <p>第二回(6月1日(木)) 及川 義久 教科書 P46～P149 検査と治療・処置 顎口腔領域における疾患の理解 及びその見方・考え方(診察から処置に至るまでを含む) (う蝕、歯周疾患、口腔外科疾患)</p> <p>第三回(6月8日(木)) 高橋 秀文 教科書 P152～P272 顎口腔領域における疾患の理解 及びその見方・考え方(診察から処置に至るまでを含む) (補綴治療、矯正治療、小児治療、高齢者の治療) 患者の看護 様々な状況に応じた看護手段 口腔ケア</p>		
評価方法	選択式と記述式のテストを実施する。規定点数に達しないものは再試験を行う。		
受講生へのメッセージ	<p>口腔は重要な機能と役割を持つ器官であり、歯、口腔疾患は幼児より高齢者に至るまで幅広い年齢層でみられる。近年は治療に加え、介護における口腔ケアの重要性が取り上げられており、看護における支援はより一層重要になってきている。</p> <p>正しい知識を持ち、患者のQOLの向上を図れるように学習して頂きたい。</p>		

市原看護専門学校 看護学科 29回生(第1学年)

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進 VI (内分泌・代謝疾患)		
時期	令和5年6月15日～7月6日	時間数・単位数	8時間(4回)
講師名	:		
テキスト	『解剖生理学』『成人看護学[6]』 医学書院		
参考書	『病気がみえるVer.3』 糖尿病・代謝・内分泌(メディックメディア発行)		
授業概要	<p>解剖や生理学を踏まえながら病気をイメージできるようにしたいと思います。</p> <p>授業は、パワーポイントを用いて、イラストや写真を沢山使って進めます。</p> <p>また、国家試験では、どのような内容が聞かれるかも随時触れたいと思います。</p>		
授業計画	<p>1回目:内分泌・代謝器官の構造と機能(テキスト 第2章 p. 16～47)</p> <p>2回目の「疾患の理解」のためには今回の「構造と機能」の理解が必須です。</p> <p>2回目:疾患の理解 A. 内分泌疾患(テキスト 第5章 p. 82～132)</p> <p>内分泌疾患について学びます。疾患の数が多いので前回学習した 「構造と機能」をふまえて効率よく学びましょう。</p> <p>3回目:疾患の理解 B. 代謝疾患 ①糖尿病(テキスト 第5章 p. 132～164) 糖代謝の生理学と、糖尿病とその合併症について学びます。 内分泌・代謝疾患の分野の中では、国試で一番出題が多い分野です。</p> <p>4回目:疾患の理解 B. 代謝疾患 ②脂質異常症 ③肥満症とメタボリック シンドローム ④尿酸代謝異常(テキスト 第5章 p. 164～187) 主に高脂血症、肥満、痛風について学びます。</p>		
評価方法	<p>選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。</p> <p>国試形式の選択問題を予定しています。</p> <p>詳しくは、最終回の授業の時に説明する予定です。</p>		
受講生への メッセージ	<p>内分泌・代謝では、覚えなければいけない事が多くて大変です。なるべく 大切なポイントがわかるように授業を進めたいと思っています。</p> <p>皆さん、一緒に頑張りましょう。</p>		

市原看護専門学校 看護学科 29回生 (第1学年)

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進VI (アレルギー・膠原病・感染症)		
時期	令和5年 10月20日～10月27日	時間数・単位数	8時間(4コマ)
講師名	土		
テキスト	『解剖生理学(人体の構造と機能)』 『成人看護学(11)』 医学書院		
参考書	特になし		
授業概要	<p>Power Point を使って行います。</p> <p>過去問を中心に内容をくわしく解説します。</p>		
授業計画	<p>国試過去問を解きながら 膜病的な部分をわかりやすく</p> <p>授業を行います</p>		
評価方法	選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。		
	<u>選択式</u>		
受講生への メッセージ	国試合格を目指すためにがんばりまく		

市原看護専門学校 看護学科 29回生(第1学年)

授業科目名	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進 VI (内分泌・代謝疾患)		
時期	令和5年6月15日～7月6日	時間数・単位数	8時間(4回)
講師名	○○○		
テキスト	『解剖生理学』『成人看護学[6]』 医学書院		
参考書	『病気がみえるVer.3』 糖尿病・代謝・内分泌(メディックメディア発行)		
授業概要	<p>解剖や生理学を踏まえながら病気をイメージできるようにしたいと思います。</p> <p>授業は、パワーポイントを用いて、イラストや写真を沢山使って進めます。</p> <p>また、国家試験では、どのような内容が聞かれるかも随時触れたいと思います。</p>		
授業計画	<p>1回目:内分泌・代謝器官の構造と機能(テキスト 第2章 p. 16～47)</p> <p>2回目の「疾患の理解」のためには今回の「構造と機能」の理解が必須です。</p> <p>2回目:疾患の理解 A. 内分泌疾患(テキスト 第5章 p. 82～132)</p> <p>内分泌疾患について学びます。疾患の数が多いので前回学習した 「構造と機能」をふまえて効率よく学びましょう。</p> <p>3回目:疾患の理解 B. 代謝疾患 ①糖尿病(テキスト 第5章 p. 132～164)</p> <p>糖代謝の生理学と、糖尿病とその合併症について学びます。</p> <p>内分泌・代謝疾患の分野の中では、国試で一番出題が多い分野です。</p> <p>4回目:疾患の理解 B. 代謝疾患 ②脂質異常症 ③肥満症とメタボリック シンドローム ④尿酸代謝異常(テキスト 第5章 p. 164～187)</p> <p>主に高脂血症、肥満、痛風について学びます。</p>		
評価方法	<p>選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。</p> <p>国試形式の選択問題を予定しています。</p> <p>詳しくは、最終回の授業の時に説明する予定です。</p>		
受講生への メッセージ	<p>内分泌・代謝では、覚えなければいけない事が多くて大変です。なるべく 大切なポイントがわかるように授業を進めたいと思っています。</p> <p>皆さん、一緒に頑張りましょう。</p>		

授業科目名	生化学		
時期	令和5年5月23日～7月4日	時間数・単位数	14時間(7回) 1単位
講師名	三上		
テキスト	生化学 医学書院		
参考書	マクマリー 生物有機化学 生化學編 第8版 2018.1.10発行 丸善出版社 ISBN 978-4-621-30240-8		
授業概要	1. 生体構成成分の分子生物学・糖質・脂質・核酸の構造と機能を理解する。 2. 代謝の基礎と原理を理解する。 3. 遺伝情報と表現型を理解する。		
授業計画	1. 生体構成物質と代謝 テストのスケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・ 生体の化学の基礎知識 5 ・ 細胞の構造と機能 " ・ 分子生物学・糖質・脂質・核酸の構造と機能 130・50 98・183 ・ 代謝の基礎と酵素・補酵素 22 ・ 代謝 142・68 112・158 2. 遺伝情報と表現型 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子と核酸 170 ・ 繰り返し修復・複数の遺伝子 194 ・ 遺伝子発現の調節 214 ・ 脱臼・翻訳後修飾 230 3. 癌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 癌遺伝子・癌抑制遺伝子 270 ・ 癌 275 		
評価方法	選択式、記述式、レポート、ノート持ち込みの可否など、テストの様式を具体的に記入。 選択式・正誤訂正問題 教科書・ノート・参考書・ハイライト等持込不可		
受講生へのメッセージ	生体は物質的に構成され、それを生命現象は一連の化学反応による結果である。生化学を学ぶことで、科学的・化学的・生物学的・生命現象を理解する考え方を修得してほしい。		